2　種類別明細書の記入例

- 前回申告された資産の内容が印字されています。
  （※前年度に電算処理方式により申告されている場合、資産内容は印字されません。）
- 資産の減少や内容を訂正する場合は、該当する異動区分にマルを付け、必要事項を記入してください。
- 増加した資産は、余白部分または送付した白紙の明細書に必要事項を記入してください。

※上越市から送付する様式は、令和８年度改正前の様式を使用しています。
　改正前・改正後のどちらの様式でも申告いただけます。

所有者コード：90001234

令和　9　年度　償却資産　種類別明細書

所有者名：株式会社　上越製作所

頁：1 ／ 1

異動区分 増加	異動区分 訂正	異動区分 削除		資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	取得年月 年	取得年月 月	取得価額	現耐用年数	課税標準の特例 率	課税標準の特例 コード	減少の事由及び区分 1. 売却 2. 滅失 3. 移動 4. その他	減少の事由及び区分 1. 全部 2. 一部	増加の事由 1. 新品取得 2. 中古品取得 3. 移動 4. その他	改正前耐用年数	摘要
1	(2)	3		2	00000001	ヨウセツキ	1	4	25	3	1,800,000	10 ~~12~~	／		1・2・3・4	1・2	1・2・3・4		耐用年数誤り
1	(2)	3		2	00000002	~~ホールパン~~ コライスパン	1	4	30	4	2,000,000	10	／		1・2・3・4	1・2	1・2・3・4		名称変更
1	(2)	3		2	00000003	センバン	2 ~~1~~	4	30	4	2,000,000	10	／		1・2・3・4	1・2	1・2・3・4		数量誤り
1	(2)	3		2	00000004	ユアツプレスキ	1	5	1	9	3,800,000 ~~4,000,000~~	10	／		1・2・3・4	1・2	1・2・3・4		取得価額誤り
1	(2)	3		2	00000005	センバン	1	4	29	12	1,400,000 ~~1,700,000~~	10	／		1・(2)・3・4	1・(2)	1・2・3・4		一部除却
1	(2)	3		6	00000006	ノートパソコン	4 ~~5~~	4	29	7	800,000 ~~1,000,000~~	4	／		1・(2)・3・4	1・(2)	1・2・3・4		
1	2	(3)		2	00000007	コンプレッサー	1	4	27	3	2,200,000	12	／		1・(2)・3・4	(1)・2	1・2・3・4		
1	2	(3)		6	00000008	ハカリ	1	4	30	9	800,000	5	／		1・2・(3)・4	(1)・2	1・2・3・4		妙高工場へ移動
1	2	3		~~6~~	~~00000009~~	~~カラーコピーキ~~	~~1~~	~~4~~	~~31~~	~~12~~	~~1,200,000~~	~~5~~	／		1・2・3・4	1・2	1・2・3・4		
(1)	2	3		1		チュウシャジョウアスファルトホソウ	1	5	7	10	1,800,000	10	／		1・2・3・4	1・2	1・2・3・(4)		申告もれ
(1)	2	3		2		ＣＮＣセンバン	1	5	8	8	4,000,000	10	1／4		1・2・3・4	1・2	(1)・2・3・4		先端設備特例
(1)	2	3		5		フォークリフト　チュウコ	1	5	8	9	1,200,000	3	／		1・2・3・4	1・2	1・(2)・3・4		中古耐用年数
(1)	2	3		6		ハツデンキ	1	4	28	10	200,000	7	／		1・2・3・4	1・2	1・2・(3)・4		R8.3妙高工場から移動

（１）資産を訂正する場合

異動区分は、訂正の「２」にマルを付ける。

訂正箇所は取り消し線を引き、訂正内容を見え消しで記入してください。

（２）資産が減少した場合（一部減少、全部減少）

・資産を一部減少した場合は、訂正の「２」にマルを付け、減少の区分は一部の「２」にマルを付ける。
・全部減少の場合は、削除の「３」にマルを付け、減少の区分は全部の「１」にマルを付ける。

一部除却した場合は、減少後の取得価額を記入

誤った削除方法：異動区分にマルを付けず、取消線を引いたもの。（これだと、削除かどうか判断できず、削除されません。）

（３）資産が増加した場合

異動区分は、新規の「１」にマルを付ける。

《資産の種類》
　該当する資産の種類の番号を記入してください。
「1」　→　構築物
「2」　→　機械及び装置
「3」　→　船舶
「4」　→　航空機
「5」　→　車両及び運搬具
「6」　→　工具・器具及び備品
※　償却資産に該当する建物、建物附属設備は、「１」の構築物に分類してください。

《資産コード》
新規申告資産の資産コードは記入不要です。

《資産の名称》
新規申告資産の名称はカタカナ・数字・アルファベットで記入してください。

《取得年月》
・資産を取得した年月を記入してください。
・年号は以下の数字に置き換えてください。
　昭和→３　平成→４　令和→５

《取得価額》
・当該資産の取得価額を記入してください。
・取得価額とは、償却資産を取得するために支出した金額又は支出すべき金額（付帯費を含む）です。
・圧縮記帳は認められていませんので、圧縮前の取得価額を記入してください。
・改良費の支出は、本体と区分して記入してください。

課税標準の特例を受ける場合は、特例名称と特例率を記入してください。

《摘要》
訂正や減少、増加した理由を記入します。

《現耐用年数》
・減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表第1、2、5、6に対応した耐用年数を記入してください。
・中古資産について、見積耐用年数によっている場合は、その耐用年数を記入してください。
・短縮耐用年数を適用している場合は、短縮された耐用年数を記入してください。

※減価償却資産の耐用年数等に関する省令別表は国税庁のホームページ等をご参照ください。